

祝・ラポールもろはた竣工 「おもてなしの心」大切に

―短期入所生活介護施設竣工―

昨年11月中旬から社会福祉法人「未生会」が建設されていた短期入所生活介護施設・ラポールもろはたが、八木町諸畑に完成し、竣工式が4月20日に行われました。多くの住民のニーズに応えた一泊から最大2週間程度宿泊可能、個室20部屋・定員20人の小さな施設です。その特徴をうまく生かし、家庭で感じるような安らぎを提供することを目指し、利用される方には「おもてなしの心」を大切に寄り添います。



▲おりの宿を利用される川西文字さん



▲被災地での救助活動の様子を見る学生の皆さん

豊かな知識と教養身に付け 生きがいある生涯を過ごす

―南丹大学開校式・防災講演―

4月28日、八木公民館で生涯生活推進事業の一環として、60歳以上を対象に南丹大学を講演。5月20日には防災をテーマに講演会が行われ、東日本大震災被災地における救援活動の様子に触れました。京都中部広域消防組合園部消防署の田中課長補佐は「震災では絆が唯一得られたもの。自助、共助の心を忘れないでください」と参加者の防災意識を喚起されました。その後、期限が迫る火災警報器の設置の呼び掛けを行いました。

市民の安全・安心守ります

―南丹市防災パトロール―

6月1日に、京都府、消防団、消防署、警察署、市防災関係課など数多くの関係者により防災パトロールを実施。大雪による倒木で一時通行止めとなった神楽坂トンネル付近（佐々江）、落石の恐れがある木住竹ヶ鼻先の民家付近、豪雨・出水時に破堤・浸水の恐れがある本梅川（宍人）を調査。総括会議において小出南丹土木技術次長は「防災意識の喚起と対策の両方が大切」と語られました。また、佐々木市長は関係機関との連携、情報の共有を強調しました。



▲現地パトロールにおいて状況を把握

総務大臣から感謝状



南丹市担当行政相談委員

森 健太郎さん（美山町）

森健太郎さんは、平成7年4月から今年3月末まで、16年の長きに渡り、南丹市（合併前は美山町）担当の行政相談委員として、美山基幹集落センターを中心に、市民から寄せられる多種多様な相談に対し、親身になって受け止め、その解決に尽力してこられました。この度、その功績に対して、総務大臣から感謝状が授与されました。